

第8章 計画の進行管理

本計画の進捗状況については、PDCA（計画・実行・評価・見直し）サイクルにより、期間ごとに検証を行い、必要に応じて目標値の設定、施策を見直し、計画の改定を行う。

1. 中間目標年

平成23年度の計画起点より5年ごとに中間目標年（平成28年、平成33年）を設ける。中間目標年には、目標値と実績値との比較を行い、必要に応じて目標値の修正、施策を見直し、計画の改定を行う。

2. 今後のごみ排出量の動向

景気の動向、災害の発生等予測が困難な事象により、ごみの排出動向等に大きな変化が生じた際には、必要に応じて、適宜計画の見直しを行う。また、国の施策や社会経済情勢等、基本計画の推進に影響する大きな変化が生じた場合にも、同様に適宜計画の見直しを行う。

3. 必要となった対応策等

進捗状況の検証を行った上で必要となった対応策等については、本計画の下位計画となる一般廃棄物（ごみ）処理実施計画の施策に反映することにより、フォローアップを図っていく。